

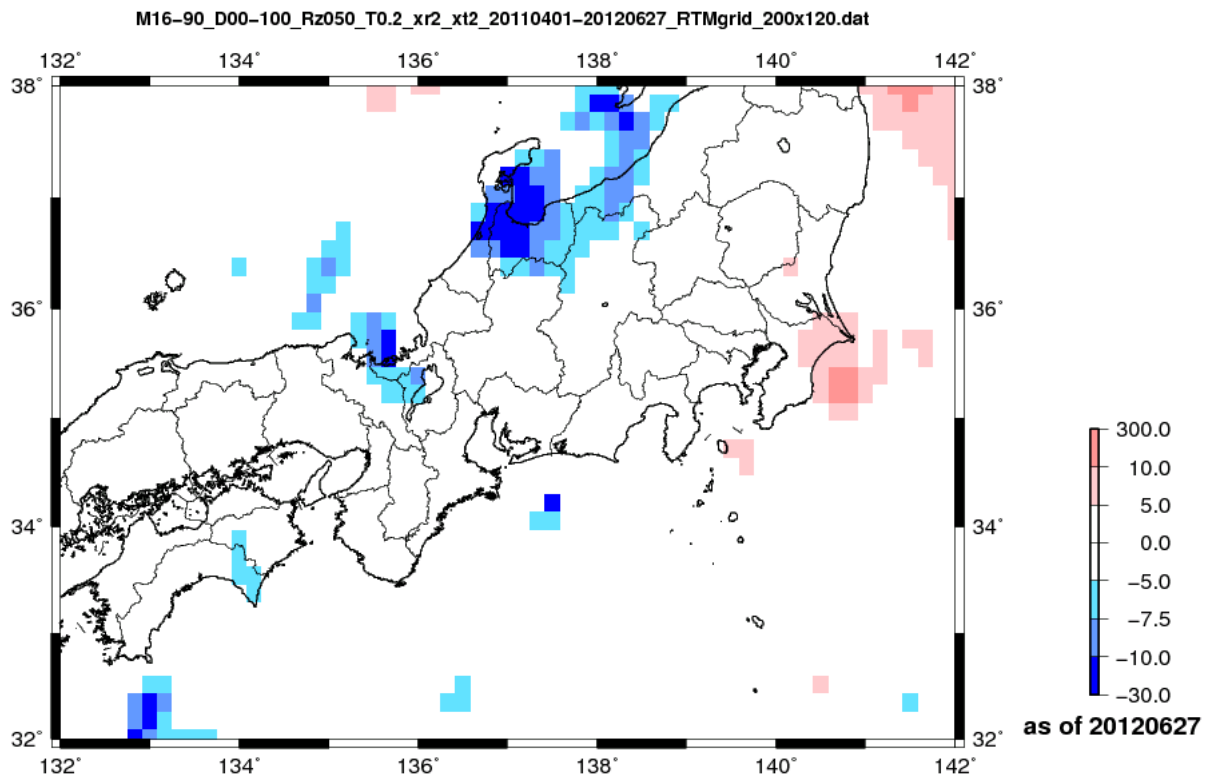
## 6月27日時点での地下天気図

6月27日時点での地下天気図は、6月7日のものと大きな変動はありません。北陸地域の静穏化領域は少し西に移動していますが、継続して観察されます。

この地下天気図は昨年3月11日の東日本大震災以降の比較的短期間の地震活動の「ゆらぎ」を表現したものです。3月11日の地震は、日本列島全体の地震活動を大きく変えてしまいました。そのため、長期間のデータに基づいた評価が非常に難しい状況です。

## 京都大学が発表している京都周辺の地震活動の異常

京都大学が一部ウェブ等で公表している近畿地方、特に京都周辺での地震活動の異常（静穏化傾向）を1998年からのデータを利用して予備的な解析を行ないました。この地下天気図と同様、現在静穏化は若干みられるものの、まだ深刻な段階には至っていないと考えています。引き続き解析を進めて参ります。



6月27日の時点での地下天気図（短期的（1-2ヶ月）変動）

6月7日に比較して北陸地方の異常（青い領域）が少し西側へ移動した。